

予 算 要 求 資 料

令和3年度6月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 **新**県産花き装飾推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111 (内 2866)

E-mail： c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベント等の中止や規模縮小、外出の自粛などにより、全国的に特に切花の需要が減少し、販売額が大幅に下落するなど生産者経営への影響が長期化している。

多くの県民が長引くコロナ禍において感染への不安や行動変容に伴うストレスを感じている中、花きにはストレスを軽減する効果があることから、コロナ対策に関わる関係者等への支援に県産花きを活用し、花きの癒し効果の普及を図る。

(2) 事業内容

コロナ感染状況を把握するために実施しているPCRモニタリング検査の協力者への県産切花の配布や、感染症患者の宿泊療養施設において県産花きを活用した花飾りの設置を支援することにより、花のある暮らしを普及させるとともに、県産花きの消費拡大を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

10 / 10

県の花き振興を図るうえで重要な取組みであり、コロナ対策にも資することから、県負担が妥当である。

また、花と緑の癒し効果の普及を目的に花きを無償提供するものであり、事業実施主体に対し負担を求めることは適当ではない。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

(千円)

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	県産花き装飾推進事業費補助金
合計	10,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業・農村基本計画

第6章 1 (3) ぎふ農畜水産物のブランド展開

⑤新たな需要開拓による花き振興

(2) 後年度の財政負担

- ・新型コロナウイルスに係る緊急対策のため、後年度の負担はなし

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	県産花き装飾推進事業費補助金
補助事業者（団体）	ぎふ花と緑の振興コンソーシアム（花きの生産、流通、小売、文化団体及び一般企業、行政機関等により組織）
補助事業の概要	<p>（目的）新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的としたイベントの中止等により激減した花き需要の回復に向け、県産花きの活用による生産者の経営支援とともに県民に花きのある暮らしの普及を図る。</p> <p>（内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策に関わる関係者等への支援に県産花きを活用し、県産花きの需要を創出する。
補助率等	定額・ 定率 ・その他（例：人件費相当額） （ 県 1 0 / 1 0 ）
補助効果	県産花きの消費による経営安定支援
終期の設定	<p>終期令和 3 年度</p> <p>（理由）花飾りにより新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ花きの需要回復及び喚起を図る。</p>

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、需要が減少している花き生産者の販売額を増加させ、経営を改善させる。</p>

（目標の達成度を示す指標と実績）

（百万円）

指標名	事業開始前	現在値	目 標
切花販売額 （岐阜市場）	1,279 (R1)	1,215 (R2)	1,279

（前年度の成果）

--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
新型コロナウイルスにより減少した花きの需要を、これまで活用されてこなかった場面において利用することにより回復させる必要がある。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	花き販売額の減少が続いている中、新型コロナウイルスによりさらに打撃を受けている県産花きの需要を、花飾りの推進により回復させる必要がある。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
